

若木所有機物リサイクル、センター「美土里館」を視察し

厄介者扱いだった落ち葉や間伐材、牛ふん、生ごみ
などを堆肥に変えて、町民にもリサイクルの精神
も根付かですばらしい取組みだ"と思った。

落ち葉を集めて、農家は農閑期の仕事、収入
山林の維持管理にもなり、一石二鳥どころか、
一石三鳥だ"と思った。

年間、維持管理費は赤字だそうだが、施設
なかった場合の生ごみの焼却処理、落ち葉集めなどを
委託した場合に比べ、経費削減になるという
話で、以前丁丁が使っていた施設を利用して
いるそうだが、水が町でも利用できる施設、設備
があれば考えるもいいと思う。

飯村 栄